池田市総合計画審議会（第１回全体会）　議事要旨

日　時：令和８年９月２日（水）午後１時～午後３時
会　場：池田市役所　３階　議会会議室
出席者：中川幾郎委員、戸松委員、大島委員、若本委員、吉田委員、門屋委員、有馬委員、中尾委員、水野委員、鶴長委員、岸上委員、渡邉委員、中川卓也委員、吉岡委員、庄田委員、若生委員、佐藤委員、宇都宮委員、今村委員、柏原委員、石田委員、手向委員
＜事務局＞
水越総合政策部長、森本総合政策部次長兼政策企画課長、小松政策企画課副主幹、嶋田政策企画課主任主事、高橋政策企画課主任主事、福井政策企画課主任主事、安田政策企画課主事
傍聴者：４名

１．開会

瀧澤市長による開会挨拶が行われた。

２．案件

（１）審議会会長・副会長の互選について

出席委員による自己紹介が行われ、その後、池田市総合計画審議会条例に基づき、互選により、中川幾郎委員が会長、大島委員が副会長に選出され、会長、副会長から各委員に対し、次のような挨拶が述べられた。

＜会長＞

池田市とは非常に長い付き合いであるが、第７次総合計画の基本構想及び前期基本計画の検討にあたっても同審議会の会長を務めており、その際にも随分と池田市に対する理解・愛着を深めた次第である。

現在は、池田市行財政改革推進委員会にも所属しており、市が財政健全化に向けて並々ならぬ努力を続けていることを認識している。そのため、第７次総合計画の後期基本計画にあたる５年間、いかなる舵取りをするかということは大変重要な、ターニングポイントであると理解しており、私も全力を尽くして審議に当たりたいと思う。

副会長、委員各位のお助けをいただきながら、この任期を務めたいと思うので、どうかよろしくお願いする。

＜副会長＞
　池田市ではこれまで様々な審議会などに参画する機会があり、その際に多様な知見を得ることが出来、ｗｉｎ－ｗｉｎの関係であると思っている。今回の機会においても、少しでも恩返ししたいという気持ちがある。
　会長とは、１０年、２０年と様々なご指導をいただく関係性であり、会長・副会長としてはチームワーク良く務めていけるものと考えている。
　地方自治法の改正によって総合計画の策定は必須ではなくなっており、策定を行わない自治体も出てきている中、池田市が策定を続けているということは素晴らしい判断であると評価している。関係者が長期的な視点を持って同じ方向を向き、ＰＤＣＡサイクルを推進しながら、５年、１０年と先を見据えて取り組むことは非常に重要である。
　会長を補佐し、また、委員各位から貴重なご意見をいただきながら、池田市が次の５年間でさらに発展していくような計画づくりに向けて尽力したい。

（２）審議会への諮問について
　瀧澤市長から会長へ、諮問書の受け渡しが行われ、その後、各委員に諮問書の写しが配布された。

（３）「第７次池田市総合計画 後期基本計画」策定方向性及びスケジュール等について
　事務局より、資料３についての説明が行われた後、次のように質疑・意見交換が行われた。

＜委員＞
　前期基本計画に掲げる１６の施策の進捗をこれから評価していくということであり、部会が始まるまでに各施策の内容などについて説明・資料などはいただけるのか。

＜事務局＞
　第７次総合計画では、４本の施策の柱にそれぞれ４つの施策がぶら下がる構成を取っており、計１６の施策を有している。部会に向けては、これらの具体的な内容や進捗状況を資料によりお示ししてまいる。

＜委員＞
　次の案件として、委員の部会への振り分けが行われるものと承知しているが、

各委員は所属する部会に関することしか意見できないのか。あるいは、所属する部会以外のことについても広く意見できるのか。

＜事務局＞
　円滑な会議の進行上、委員各位のご知見・ご経験などを踏まえて、各部会に振り分けを行わせていただきたいと考えているが、他の部会に関わる内容や、全体に関わる内容についても、広範に意見をいただければと思う。

＜委員＞
　各部会だけでは十分に議論が出来ないこともあり得る。答申を取りまとめる全体会に進む前に、各部会で出た意見の共有をお願いしたい。

＜事務局＞
　会議の進行については、ご意見を踏まえて丁寧に進められるように検討する。

＜委員＞
　市の具体的な課題として、水月児童文化センター及び五月山児童文化センターの耐震工事の進捗について憂慮している。部会の振り分け上、私の所属しない部会で主に議論される内容であると思うので、念のためこの場で共有させていただいた。

＜会長＞
　ご意見として議事録にも残させていただく。

（４）部会の振り分けについて
　事務局より、資料4についての説明が行われた後、 次のように質疑･意見交換が行われた。

＜委員＞
　私の所属する部会において防災施策を主に取り扱うということだが、防災においては、「子どもを守るには？」「高齢者を守るには？」など他の施策の視点も大きく関わってくる。各部会の皆さまからも貴重な意見をいただければと思うので、よろしくお願いしたい。

＜会長＞

先ほども事務局から発言があったように、所属する部会に関すること以外について意見をしてはいけないという縛りはない。担当以外の内容についてもご遠慮なく意見をお願いしたい。

（５）その他

会長の進行により、各委員から自己紹介の補足説明、抱負、審議会や市政に関する意見などの発言が行われ、審議会や市政に関する意見は主に次のような内容であった。

＜委員＞

交流人口の増減は、市の商工業の活性化などにも関わることから、人口増加に向けた施策という観点からも議論に貢献したい。

＜委員＞

市の最上位計画である総合計画に基づく形で、池田市教育振興計画が策定されている。このため、総合計画が良いものになれば、教育関係の計画も良いものが作られていくと認識している。

市の人口が減少していく中、子どもの数はそこまで減っていないのは、市の教育について子育て世代から評価を得ているものと思われる。

人口の増加に向けた施策は、延いては子ども、保護者、先生のための施策にも自ずとつながっていくと考えており、積極的に意見を申し上げていきたい。

＜委員＞

防災力の向上にあたっては、ハード面の強化に目が行きがちであるが、市民自身の意識・取組のパワーアップも大事だと思う。公共が出来ることは限られており、自分の命を守ることが周囲の他の命を守ることにもつながる。

＜委員＞

第７次総合計画がめざす、市民も関わりながらまちづくりを進めるというすがたに非常に共感している。池田市は、企業や市民と行政が協働しやすい、丁度良い規模感であると思う。

まちづくりにおいて大事なのは、皆が自分事として取り組んでくれるかどうか。市民ワークショップなどの企画は重要だと思うし、例えば、計画案のパブリックコメントを過去最大くらい集めることができれば、それも市民が興味を持ち、関わってくれたという指標のひとつとなるのではないか。海外などではパブリックコメントの数で施策の方向性を決めていくこともあると聞くし、市

民の意見を大切にしてほしい。
　また、定住人口について、現時点で計画終期である２０３２年の１０万人達成は見込まれているということであるが、その後減っていくことは間違いないので、この審議会においてはその先も見据えた提言が出来たらと思う。

＜委員＞
　定住人口を増やしていくには、まず住むところを増やす必要がある。しかし、駅前にマンションを増やしていくことが本当に良いのか。駅から離れた場所に建つ戸建て住宅のあり方は全国的にも課題であると思う。
　池田市は、都市部に行く際に通過するまちという認識の人は多いが、自然や利便性があり、良いまちであると思う。防災など安全・安心なまちづくりを進めることが、延いては移住・定住にもつながっていくと考えている。

＜副会長＞
　各委員からの意見を聞き、副会長としての責任を改めて感じている。特に、市民の方から立派なご発言を多数聞くことが出来、池田市の民度の高さに感心するとともに、非常に感謝している。
　先ほどの事務局からの説明では、総合計画の進捗について人口と財政の関係を中心に整理いただいたが、やはりこの２点が市の基本運営にとって大事と考える。自治体経営においては、１０万人規模のまちが最も効率的に行えると言われており、池田市がこの数字を長く維持されているのは良いことだと思っている。不断の努力の結果であり、市民の協力も機能している証拠。
　一方、財政に関しては、金利の上昇が自治体経営に大きな影響が見込まれる。消費税の減税も市税収入に大きく関わるため、状況の変化を注視し、対応していく必要がある。
　私は施策４の部会長でもあるが、安全・安心なまちに向けて、自治会の加入率の低下、老朽化するインフラ施設のマネジメント、豪雨災害や南海トラフ地震などへの対応、病院や上下水道の維持といった様々な課題があり、いずれも大きな関心を持っている。一委員としてもしっかりと考えていきたい。

＜会長＞
　各委員から様々な意見をいただいた。多くの委員がいらっしゃる会議体であり、時間が限られる中、引き続き円滑な進行にご配慮をお願いしたい。
　事務局からも説明があったが、総合計画は市の最高計画、最上位計画である。大本の基本構想は既に定まっており、前期５年間の点検と後期５年間の計画の策定が我々の仕事となる。部会の振り分けに関わらず、気になったことはどん

どんご発言いただきたい。施策ごとの横のつながりは非常に大事である。
　また、総合計画を行政のための計画と思っている人が多いが、そうではなく、市民と法人市民、そして行政のための計画である。どんな課題でも行政のせいにするのではなく、住民自治、団体自治の立場での役割が計画の中でも見えるようにしていきたいと思う。

３．閉会

　事務局より次のように事務連絡が行われた後、会長による閉会挨拶が行われた。

＜事務局＞
　本日は、慎重な審議をいただき感謝申し上げる。
　次回は、振り分けを行った４部会に分かれての開催とし、前期基本計画の進捗状況について、施策の柱ごとに議論を進めてまいりたい。日程については、各位調整の上、決定・お知らせさせていただく。
　また、本日の議事録及び会議資料については、ホームページなどへ掲載させていただく。以降の審議会についても、同様の扱いとさせていただく。

（以上）